

1. 委員会開催状況

1) 委員会 9回

(集合開催3回、ハイブリッド開催5回、Web開催1回、中止3回/進捗と議題延期のために開催不要)

2) 検討事項

- (1) 委員会活動内容について
- (2) 研修応募状況について
- (3) 研修実施の評価
- (4) 令和5年度研修計画の検討
- (5) 令和5年度教育委員会活動計画の検討
- (6) 教育委員会規程・内規の検討

2. 活動報告

「教育理念」「教育目的」「教育目標」「教育研修分類」に沿って、基本的な知識が習得できる研修をベースに、急性期から生活へのつながりを意識した研修、また各職能の実践能力のラダーに関連した研修を企画した。ウィズコロナ時代においても適切な教育研修計画が実践できるように、オンライン研修やオンデマンド研修を多く開催し、集合研修は感染症の発生状況に応じて柔軟に研修方式や運営方法を変更した。

分類	研修方法	回数	日数	定員数	応募者数	受講者数
分類1	集合研修 (一部ハイブリッド開催を含む)	8	8	610	886	386
	オンライン研修	24	23.0	3,220	3,874	2,727
	オンデマンド	12	—	—	3,669	3,482
分類3	集合研修	3	7	220	184	129
	オンライン研修	8	8	610	763	577

3. 今後の課題・検討事項等

- 1) 今年度と同様に、感染拡大時にも対応しうる研修を準備する必要がある。基礎的内容はオンデマンド研修、発展的内容は対面研修など新しい研修スタイル(オンデマンド、収容人数等)に合わせた構成を検討する。
- 2) 申込や受講状況、アンケート結果及び委員や関係者による受講評価、これらの指標を参考に、併せて日本看護協会の研修分類や教育目標の網羅性を踏まえた研修内容を検討する。
- 3) 委員会(教育、新人、感染、医療安全)を超えた重複内容による研修のスリム化、区(差)別化を一層図るとともに、ラダーの対象の幅についても検討を行う。
- 4) 県内のリソースナース(高度実践看護師など)を活用し、近隣施設とのつながりの強化や顔の見える関係の構築の機会となる研修を企画する。
- 5) 福岡県看護協会が企画するというスケールメリットを活かし、著名な全国の講師を招聘することで、最新の情報に触れる機会を設ける。